

特色ある県立高校づくり懇談会について

高校教育課

1 目的

長野県教育委員会では、平成 30 年に「高校改革 ～夢に挑戦する学び～実施方針」を策定してから今日まで、本方針に基づき、高校改革を進めてきている。

方針策定から 5 年が経過し、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大や ChatGPT を始めとする科学技術の急速な進展など、高校教育を取り巻く状況が大きく変化している。

このような状況を踏まえ、より一層、生徒や地域の期待に応える特色ある県立高校とするため、有識者や様々な立場の方々から幅広く意見などを求め、新たな学びや学校づくりに反映させる。

2 内容

(1) 議題

- ・中学生と産業界等の期待を踏まえた学校づくりについて
- ・県立高校の特色化・魅力化について
- ・地域との連携のあり方について

(2) 構成員

有識者、PTA、教育関係者、産業界、地域の代表者 など

3 スケジュール

区分	議題
第 1 回 (6/5)	○ これまでの高校とこれからの高校 ・高校の役割（そもそも高校とは） ・普通科と専門学科のそれぞれの役割 ・子どもや社会・地域の視点からの役割 ・これからの時代のあるべき姿 ・求められる学び
第 2 回 (8/9)	○ 県立高校の入口出口 ・生徒の希望に基づき学科の定員を決めることについて ・職業科で学んだ生徒が、その専門以外の進路を選んでいることについて
第 3 回 (11/15)	○ 特色化・魅力化について ・魅力ある選択肢を拡大させるために、どのような高校が必要か ・県境校や中間地校の存続には、どんな特色化が必要か
第 4 回 (1月予定)	同上
第 5 回 (3月予定)	最終まとめ

4 懇談会での主な意見

裏面のとおり

特色ある県立高校づくり懇談会での主な意見

区分	テーマ及び主な意見
第1回 (6/5)	<p>テーマ:これまでの高校とこれからの高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立高校の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立高校はどんなことをやっているのか見えづらい ・ 偏差値でどの高校に行くかが決まると感じる ○ これからの高校に必要な視点や学び <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の学びたいことを学べる」をキーワードに考えてみたら ・ 総合学科など特色のある学びの選択肢があることが重要 ・ どこでも学べる部分はオンラインや通信制を使って共有化し、残りのリソースを生徒と向き合う学びに振り分けるのが重要 ○ 特色化にあたっての留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特色化のカギは学校だけでやろうとしないこと。地域資源活かした教育をつくるべき ・ 現在の教員だけで限界があるなら、特色化を担うコーディネーター人材の確保を検討すべき
第2回 (8/9)	<p>テーマ:県立高校の入口出口</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入口の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の学校の枠にとらわれた形で中学生が答えてしまう進路希望調査を見直す必要がある ・ 10月の調査では偏差値で輪切りにしており、純粋な希望とは言い切れないのでは ・ 希望と聞かれても分からないという生徒も多く、周りに流されてしまうのでは ○ 出口の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだことが活かされないことは実際にはないのでは ・ 学科別の卒業先にこだわるよも、カリキュラムの改革が必要では ・ 輝く大人たちと出会うと子どもは化学反応が起こる。そのような場が必要 ・ 進学への職業校でのサポートが弱いなら、補強しなければいけない ○ 入口出口の対応方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のニーズ把握は、現在の企業が求める力というより、子どもたちが5年、10年後に必要な力といった観点が大事 ・ こういう未来をつくるという県のビジョンと、未来のニーズからどういう教育が必要かをバランスを見ながら、県立高校をデザインしていくことが重要
第3回 (11/15)	<p>テーマ:県立高校の特色化・魅力化</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特色化の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・ これからのグローバル時代を考えると語学とコンピューターサイエンスは教育インフラとして必要。海外進学への進学を特色とする学校があってもよい ・ 保護者から見て分かりやすい特色化は進学率と部活 ・ 学校の特色と合わなかった生徒のために、転学や他校の単位が取れるなど学校間の連携が必要 ・ 特色化も大事だが、その前に基礎学力も重要 ・ 塾にもスキルの高い講師がたくさんいるので、学校と塾の連携も考えるべき ○ 県境校・中山間地校の特色化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県境校は地元ならではのものを学べる場所として残していけばよいのでは ・ 中山間地校は少ない教員で多様な生徒に対応しなければならないので、地域資源の活用、地域コーディネーターの確保、オンラインの活用、越境交流などが必要 ・ 自前主義ではなく小規模校・中山間地校を中心にネットワークを作ることも必要